

## 平成19年度千歳市各会計予算大綱

平成19年度千歳市各会計予算案を提出するにあたり、その大綱につきましてご説明申しあげます。

予算案の総額は、

一般会計	454億	524万4千円
特別会計（6会計）	184億4,	791万円
合計	638億5,	315万4千円

となっております。

一般会計では、前年度に比べ13億5,067万1千円、2.9%の減となっておりますが、これは骨格予算のため投資的経費が減になったことが主な要因であります。

歳入につきましては、一般財源で226億4,443万8千円となり、前年度に比べ7億2,406万5千円、3.1%の減となっております。

この内容は、市税では税源移譲などで15億1,380万円の増となったものの、所得譲与税で7億4,372万4千円、減税補てん債で1億1,200万円がそれぞれ皆減となり、繰入金で5億5,667万3千円、地方交付税で4億5,000万円、国庫支出金で1億7,741万6千円、地方特例交付金で1億4,600万円が減となったことなどによるものであります。

特定財源では227億6,080万6千円となり、前年度に比べ6億2,660万6千円、2.7%の減となっております。

この内容は、市債のうち借換債で5億円が皆増となるものの、骨格予算のため投資的経費に係る国庫支出金、市債などが減となったことによるものであります。

次に、歳出であります。経常費で241億779万8千円となり、前年度に比べ2億9,385万4千円、1.2%の増となっております。

これは職員費では減となったものの、公債費、児童手当給付費、特別会計繰出金などで増となったことによるものであります。

また、投資的経費を除く臨時費は180億4,187万5千円となり、前年度に比べ4,643万7千円、0.3%の減となっております。

これは国政選挙・統一地方選挙の執行経費や市債の借換などが皆増となりましたが、千歳市土地開発公社貸付金や工業等振興条例補助金が減となったことなどによるものであります。

投資的経費では32億5,557万1千円となり、前年度に比べ15億9,808万8千円、32.9%の減となっております。

これは骨格予算でありますことと、最終処分場整備や河川事業などが完了したことが主な要因であります。

なお、この投資的経費の内訳は、補助事業で10億3,197万8千円、単独事業で22億2,359万3千円となり、これらに充当する一般財源は12億351万6千円、特定財源は20億5,205万5千円となっております。

当初予算に計上しました主なものは、経常的経費、道からの権限移譲、既決の債務負担行為に係る経費などのほか、当初で計上しなければ工事内容や補助採択などから事業執行に影響のあるものとし、市内の景気への影響や市政運営に空白が生ずることのないよう配慮するとともに、平成17年度から取り組んでおります「安心」と「活力」の2つを柱とした「子育て・教育」など5つの重点施策につきまして、「人育て・市民協働により活力が循環する都市づくり」に向けて、継続事業を中心に計上しております。

以下、計上いたしました主な予算につきまして、「21☆千歳きらめきプラン」に掲げた5つの都市づくりの目標に沿ってご説明申しあげます。

はじめに、『心がかよい幸せ感じる都市づくり』の予算であります。

すべての市民が心身ともに健康で、生きる喜びを実感しながら暮らせるよう、健康づくり活動を推進するとともに、保健予防対策や地域医療体制の充実と高齢者などへの医療助成のため、

予防接種推進事業費	8,091万3千円
市民健康診査事業費（個別・集団健診）	5,344万円
老人・乳幼児等医療費助成事業費	6億4,951万9千円
医療体制整備事業費	1億64万4千円
AED（自動体外式除細動器）購入費	596万5千円
病院事業会計繰出金	9億7,252万1千円

などを計上しております。

生涯を通じて健やかな生活が送れるよう、長寿時代にふさわしい高齢者のニーズに応じた福祉サービスの充実を図るとともに、障害者のライフスタイルに沿った自立生活の確立や社会参加を推進するため、

高齢者・障害者福祉サービス利用券助成事業費	7,352万6千円
敬老祝金贈呈事業費	1,209万1千円
軽費老人ホーム（ケアハウス）整備事業費	270万4千円
障害者総合支援センター運営事業費	1,899万円
障害者社会参加促進事業費	5億8,302万5千円
障害者日常生活支援事業費	1億9,581万5千円

などを計上しております。

一人ひとりの子どもが個性豊かでたくましく成長できるよう、経済的支援対策を推進するとともに、さまざまな子育て支援機能を有する複合施設の整備など子どもたちを心豊かに育む環境づくりのため、

児童手当・児童扶養手当給付事業費	9億8,288万円
子育て短期支援事業費	38万9千円
地域子育てサロン事業費	24万円
企業に対する仕事と家庭の両立推進事業費	9万9千円
(仮称)子育て総合支援センター整備事業費	6億2,231万1千円
市立保育所民営化推進事業費	2,364万4千円
母子家庭自立支援給付金事業費	353万6千円

などを計上しております。

健康で文化的な生活への自立を支援するとともに、地域住民の自主的な参加と連帯による人と人とのふれあいや信頼と温もりのあるコミュニティづくりをめざして、

生活保護事業費	16億3,202万8千円
国民健康保険特別会計繰出金	10億1,000万円
消費生活費	1億645万円
コミュニティセンター費	8,421万7千円

などを計上しております。

次に、『安全で人と地球にやさしい都市づくり』の予算であります。

地球的視野に立った環境保全と資源の有効活用により、環境への負荷の少ない循環型社会の構築と、水と緑に包まれたうるおいと安らぎに満ちた都市環境づくりのため、

ISO14001推進事業費	92万4千円
破砕処理施設整備事業費	145万円
公園緑地整備事業費	2億4,400万円

などを計上しております。

さまざまな災害から市民の生命、身体及び財産を守り、安全で安心して暮らせる環境づくりをめざし、防災対策の充実を推進するとともに、消防体制の強化や交通安全環境の整備を図るため、

災害応急対策用品等整備事業費	269万9千円
防災訓練事業費	95万9千円
救助工作車購入事業費	8,238万4千円
交通安全推進費	1,569万7千円

などを計上しております。

安全でおいしい水を供給するため水資源の確保を図るとともに、衛生的で快適に暮らせる生活環境を確保するための公共下水道の整備や基地障害防止対策の推進、良質な住環境づくりのための公営住宅の整備、高齢者の居住の安定確保を図るため、

石狩東部広域水道企業団繰出金	4 1 2 万 3 千円
下水道事業会計繰出金	1 1 億 3, 6 9 5 万 4 千円
基地周辺共同受信施設設置事業費	3, 6 9 0 万円
在日米軍再編対策事業費	2 4 7 万 3 千円
公営住宅建替事業費	6 億 5, 4 4 8 万 8 千円
借上市営住宅建設費補助・賃貸借契約（債務負担行為）	1 1 億 3, 3 1 6 万円
高齢者優良賃貸住宅家賃補助事業費	9 4 4 万 5 千円

などを計上しております。

次に、『学びあい心ふれあう都市づくり』の予算であります。

市民の主体的な生涯学習活動の支援とネットワークづくりをめざすとともに、次代を担う子どもたちの豊かな心と人間性を育む教育環境の整備や社会の変化に対応できる「生きる力」を身につける教育の充実を図るため、

市民活動交流センター「ミナクル」管理運営業務経費	4 1 4 万 5 千円
幼稚園教育振興事業費	1 億 3, 9 0 5 万 9 千円
児童生徒安全対策事業費	1 0 2 万円
修学支援事業費	2 8 2 万円
総合的な学習の時間経費	5 0 3 万 1 千円
グローバルスクール活動事業補助金	6 5 0 万円
小・中学校耐震化改修事業費	1 億 6, 7 9 6 万 6 千円
北陽小学校増築事業費	2 億 1, 8 6 9 万 9 千円
富丘中学校仮設校舎整備事業費（リース料）	2, 7 1 8 万 4 千円
特殊学校等就学者支援事業費	9 8 5 万 2 千円
特別支援教育体制推進事業費	1 1 2 万 7 千円

などを計上しております。

心の豊かさが求められている今日、生涯各期のライフスタイルに対応した学習機会の充実やスポーツ振興を図るため、

社会教育振興費	1, 0 4 4 万 2 千円
公民館費	2, 3 9 2 万 7 千円
図書館費	1 億 8 0 2 万 5 千円
体育振興費	5 億 3, 8 0 9 万 9 千円

などを計上しております。

市民がうるおいとゆとりのある生活が送れるよう、市民による自主的な芸術文化活動への支援をはじめ、特色ある「千歳らしい」文化を創造するとともに、豊富な文化財の保護と青少年の健全な育成を図るため、

市民文化センター費	1億6,709万円
文化振興費	951万7千円
青少年対策費	1億6,948万3千円

などを計上しております。

国際化に対応した都市機能の充実と、市民参加型の交流活動の支援や多様な地域間交流の推進による国際性豊かな人材の育成を図るとともに、世界に開かれた国際交流都市を形成するため、

姉妹都市交流事業費	81万円
国際交流事業費	308万2千円
外国青年招致事業費	352万7千円

などを計上しております。

次に、『魅力と活力あふれる都市づくり』の予算であります。

市民生活の利便性の向上など高度情報化に対応した情報通信システムの整備とIT基礎技能の修得を推進するため、

情報推進費	6,578万2千円
IT基礎技能修得等住民サポート事業費	197万2千円

などを計上しております。

市内幹線道路や市民生活に密着した生活道路の整備など、機能的で安全・快適な道路体系の確立と公共交通機関の利便性・接続性の向上など、総合交通ネットワークの形成を図るため、

道路橋梁整備事業費	2億6,836万円
C経路整備事業費	4億4,970万円
循環型コミュニティバス運行事業費	2,762万4千円
バス路線確保対策補助事業費	5,493万円

などを計上しております。

千歳らしさが感じられる個性あるまちづくりをめざし、良好な都市景観と魅力ある街並みの形成を図るとともに、住環境の優れた宅地供給を促進するため、

都市計画総務費	2,058万3千円
電線類地中化事業費	1,800万円

土地区画整理事業認可等事務経費

4 2 7 万円

などを計上しております。

地域の特性を活かした生産性・収益性の高い特色ある農林水産業の確立をめざし、農業経営の体質強化、農業基盤の整備、森林の整備・保護や内水面漁業の振興を図るため、

農業振興費	1 億 2 2 2 万 6 千円
農業振興地域整備計画更新業務経費	1 4 0 万 3 千円
畜産業費	6 , 6 3 2 万 2 千円
土地改良費	2 億 9 , 4 2 9 万 3 千円
林業費	6 1 3 万 5 千円
水産振興費	5 2 0 万 1 千円

などを計上しております。

快適で賑わいのある魅力的な商店街づくりを推進し、高度技術産業の集積など商工業の振興や労働者の生活安定と雇用の創出を図るとともに、豊かな自然など多様な観光資源を活かした観光都市づくりをめざして、

商工振興費	8 億 7 9 6 万 2 千円
産業活動促進事業費	1 , 2 1 9 万 3 千円
匠の技誘致事業費	3 4 7 万 1 千円
企業誘致プロモーション事業費	4 4 4 万 7 千円
ホトニクスバレープロジェクト推進事業費	9 6 万 7 千円
労働諸費	2 , 8 8 2 万 7 千円
ワークシェアリング事業費	1 , 3 4 1 万 5 千円
観光費	7 , 6 9 5 万 6 千円

などを計上しております。

次に、『参加と連携による都市づくり』の予算であります。

市民と行政が連携・協力をする市民協働によるまちづくりと効率的な行財政システムの確立、市民に信頼され開かれた行政運営を進めるため、

男女共同参画推進事業費	7 5 万 6 千円
広報・広聴費	6 , 4 1 1 万 9 千円
市民協働推進事業費	6 0 0 万円
都市経営推進事業費	9 0 万円
人事評価システム導入経費	2 5 2 万円
総合行政システム導入等事業費	1 億 8 2 1 万円

旅券受付・交付事務経費	1 3 4 万円
行政評価システム推進事業費	8 4 万円
第4次行政改革推進事業費	4 3 万 4 千円
情報管理業務経費	4 2 万 8 千円
住民参加型市場公募地方債発行経費	4 5 0 万 5 千円
千歳市土地開発公社貸付金	1 3 8 億 4 , 0 2 3 万 9 千円

などを計上し、市民サービスの向上と行政事務の効率化、自主財源の確保、事務事業の見直しや経費の節減を図り、行政の透明性や健全な財政運営を進めてまいります。

次に、特別会計予算の概要についてご説明申し上げます。

国民健康保険特別会計につきましては、総額で85億9,003万9千円となり、前年度に比べ10億2,468万3千円、13.5%の増となっております。

これは、平成18年10月から高額医療費共同事業が拡充され、市町村間の保険料の平準化と財政の安定化を目的とした保険財政共同安定化事業が開始されたことなどによるものであります。

歳入では、国民健康保険料で792万4千円、0.4%、療養給付費等交付金で2億5,967万1千円、13.2%といずれも増となり、保険財政共同安定化事業交付金は7億6,230万1千円の皆増となっております。

歳出では、被保険者の増加などにより保険給付費で3億7,751万7千円、7.1%の増となり、共同事業拠出金では7億572万5千円、442.0%の大幅な増となっております。

なお、被保険者の保健衛生普及と疾病予防を推進するため、引き続きフリーダイヤルによる24時間電話健康相談を行うほか、インフルエンザ予防接種などの助成費とともに、平成20年度からの特定健康診査・保健指導の義務化に伴い平成19年度から国保ヘルスアップ事業などの経費を計上しております。

土地取得事業特別会計につきましては、総額で4,616万1千円となり、前年度に比べ3,548万7千円、332.5%の増となっておりますが、これは大和地区における養護老人ホーム、健康づくりセンター、コミュニティセンター用地の起債元金の償還開始とともに、9線中通道路予定用地の先行取得費の計上によるものであります。

公設地方卸売市場事業特別会計につきましては、総額で4,028万6千円となり、前年度に比べ428万2千円、9.6%の減となっておりますが、これは公債費の減などによるものであります。

老人保健特別会計につきましては、総額で68億5,183万2千円となり、前年度に比べ1億114万円、1.5%の増となっております。

これは、一人当たりの医療費の増とともに、平成19年10月から新たに75歳を迎える新規受給者分が増となることから、医療諸費で前年度に比べ1億87万4千円、1.5%の増を見込んだことによるものであります。

霊園事業特別会計につきましては、総額で4,923万5千円となり、前年度に比べ1,886万円、27.7%の減となっております。

これは、千歳霊園第3期分の建設費の皆減などによるもので、貸付区画数は110区画を見込んでおります。

介護保険特別会計につきましては、総額で28億7,035万7千円となり、前年度に比べ1,066万円、0.4%の増となっております。

歳入では、基金繰入金で805万5千円、22.0%の減となったものの、介護保険料で1,608万4千円、3.1%の増を見込んでおります。

歳出では、介護保険費で743万3千円、0.3%、地域支援事業費で574万4千円、5.9%の増を見込んでおります。

地域支援事業では、地域包括支援センターなどの充実とともに、新たに高齢者サロンの設置、やまとの杜の道営住宅シルバーハウジングにおける生活援助員派遣事業費を計上しております。

以上で予算の大綱説明とさせていただきますが、よろしくご審議、ご決定いただきますようお願い申し上げます。